

Let's GO!



第4学年 学年だより 11月号

どちらが近いの？



算数科、「概数」についての学習を進めていた時のことです。

「1826を『約何千』と表すと、『約1000』と『約2000』のどちらになるか」という問いについて、全員が「約2000」になると答えました。では、なぜそう考えたのかみんなで考話し合うことにしました。「百の位の数字は8だから、上に近い」「1000と2000の真中の1500で区切れればどちらに近いかが分かる」という意見が出ました。みんながそれぞれの意見に納得したとき、Oさんが「じゃあ、（真ん中の）1500はどうなるの？」と新たな疑問をもったのです。「え？どっちだろう」「どっちでもいいんじゃない？」などと、教室がざわめきました。Hさんが「1500はすっきりとした数字だから、1500のままでいいと思う」といいました。「なるほど」「そうかもしれない」という声が出ましたが、Sさんは「だめだと思う。だって、問題は『約何千と表すと』だから」ときっぱりと言いました。最終的には0～9までの数字を順に並べると5は大きい方の5の数字に入るから1500は約2000になるという四捨五入の考えに無事に行きついたのですが、OさんやHさんのように自分の疑問や考えを素直に話したり、Hさんのように課題に提示されている条件をしっかりと捉えた意見を出したりしたからこそ、学級全体ですてきな学び合いができたのではないかと思います。



校外学習 (立山青少年自然の家)



10月22日(木)、3、4年生で国立立山青少年自然の家へ校外学習に行きました。今年初めての校外学習で、みんな楽しみにしていました。秋の自然に十分触れただけでなく、3年生に並ぶよう声をかけ、集合するとすぐに人数確認をしたり、3年生を励ましながらかや山野を歩いたり、中学年のリーダーとしてしっかり活躍していました。



トントンの森は道がけわしくて大変でした。くねくねした道があったり、急な坂になったりしました。とちゅうで木の根が出ていて転んでしまいました。でも、無事にゴールできてよかったです。森の中にはクイズがあって、どの答えを選んだらよいか迷うところもありました。とてもつかれていてバスの中でねていたので景色が見られませんでした。次に行くときには、景色をゆっくりながめてみたいなと思いました。

S. K

来拝山へ登ることができなくなりとてもがっかりしましたが、沢歩きはできると聞いて、少しうれしくなりました。沢歩きでは、石に絵をかけるチョークのような石やどんぐりを見つけました。最後の方で、大きなカエルがいてとてもびっくりしました。トントンの森ではクイズを解きました。私たちは、最後にゴールしたけれど、みんなと協力できたし、分かれ道を何度も通ることができたので楽しかったです。

O. A



「伝える」「示す」を意識した学習発表会



10月24日（土）の学習発表会には、ご多用の中多数お越しくださりありがとうございました。1学期に社会科「私たちの県」の学習で富山県の特産品について調べたことを分かりやすく、面白く家の人に伝えようと、子供たちは、クイズを考えたり図をkaitたりしました。体育館での練習が始まると、見てくださる相手を意識して声の抑揚や振り付けを工夫しました。当日子供たちには「自分たちが発表を楽しんで」と声をかけました。とは言え、多くの保護者の方々を目にするとやはり緊張したようです。発表を終えた後、教室で話を聞くと、みんな「声が小さくなってしまった」「今までの中で一番うまくいかなかった」などと口々に言いました。しかし、これは「自分たちはこんなものじゃない」「まだまだもっとよい発表ができるようになる」という気持ちの表れではないかと思います。発表をやり切ったという達成感だけでなく、さらに上を目指す、次の目標へ気持ちを向けている、子供たちからはそんな頼もしい向上心が感じられました。

学習発表会はきんちょうしたけれど、せいいっぱいがんばりました。出番になったら「わたしは出来る！」と思いながら体育館に行きました。楽しく踊りながら入ることができました。いよいよ私の出番になりました。最初のせりふはちょっとだけまちがえたけれど、うまく進めることができました。最後のセリフもお客さんに笑ってもらえてうれしかったです。自分の目当ては達成できたと思います。

Y. K



今年の学習発表会は、自分の言葉をまちがえずに言えました。けれどもチューリップやますのすしなどを他の友達が発表しているときに、その言葉に合わせてびっくりしたり、うなずいたりすることがあまりできなくて残念でした。でも、家の人たちが笑って楽しんでもくれたのでうれしかったです。来年まちがえずに言うだけでなく、セリフのないときもちゃんとして、自分の中で100点の発表ができるようがんばりたいです。

Y. M